

各高等学校長 様  
放送部 顧問 様

大阪府高等学校視聴覚教育研究会  
会 長 西 田 恵 二  
(大阪府立 泉北 高等学校長)

令和 2 (2020) 年度 高校生のための放送技術講座について (お知らせ)

平素は本研究会の活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本研究会では、放送についての理解を深め、放送技術の向上に資するため、毎年「高校生のための放送技術講座」を開催いたしております。今年度は1月に計画いたしましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期をし、下記の通り3月に実施することといたしました。

つきましては、関係生徒の参加についてご配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和 3 (2021) 年 3 月 28 日 (日)  
午前 9 時 ~ 午後 5 時
- 2 場 所 相愛高等学校  
大阪府中央区本町 4-1-23
- 3 講 師 放送局社員・高視研役員など (予定)
- 4 内 容 A アナウンス講座 (生徒向け)  
B アナウンス・朗読講座 (教員向け)  
C 朗読講座 (生徒向け)  
D 番組講座 (生徒・教員向け)  
※ 生徒の皆さんは、A・C・D の中から 1 つを選択してください。
- 5 定 員 なし  
※ 新型コロナウイルス感染防止の観点から、人数を制限する場合があります。
- 6 参加費 一人につき 300 円 (資料代等実費として)
- 7 詳 細 別紙「実施要項」を参照してください。
- 8 その他 情勢により、講座をWeb開催にする・中止する等、変更することがあります。

## 令和2(2020)年度 高校生のための放送技術講座 実施要項

1月の要項からの変更点を黄色のマーカーで示しています。

### [1] 当日(3月28日)の日程

- 9:00 ~ 9:30 午前受付  
9:35 ~ 11:30 A)アナウンス講座(生徒向け)  
11:45 ~ 13:15 B)アナウンス・朗読講座(教員向け)  
13:15 ~ 13:45 午後受付  
13:45 ~ 15:45 C)朗読講座(生徒向け)  
13:45 ~ 16:15 D)番組講座(生徒・教員向け)

※ 開会・閉会行事はありません。

※ 生徒は、A) C) D) のどれか1つの講座を選んでください。

※ 教員向けに、B)アナウンス・朗読講座、D)番組講座を設定していますので、引率の先生はご参加ください。

※ 顧問の先生のみ参加も歓迎します。その際も申し込みは行ってください。

### [2] 講座内容等について

#### A) アナウンス講座(生徒向け)

<内容>

- ・12月実施の「校内放送指導者講座」に参加された先生のお話を聞き、模擬審査などを交えて学びます。
- ・仲山豊秋先生を講師に迎え、原稿や音声表現について公開で指導していただきます。

#### B) アナウンス・朗読講座(教員向け)

<内容>

- ・仲山豊秋先生を講師に迎え、学校における生徒のアナウンス・朗読指導について指南していただきます。

#### C) 朗読講座(生徒向け)

<内容>

- ・仲山豊秋先生を講師に迎え、音声表現について公開で指導していただきます。
- ・鎌田潤先生を講師に迎え、今年度の夏の大会の音声をもとに、来年度のNHK杯に向けて指導していただきます。

#### D) 番組講座(生徒・教員向け)

<内容>

- ・井村慎介先生を講師に迎え、ドキュメント番組の制作について指導していただきます。

### [3] 参加申込について

- (1) 参加費 生徒一人につき300円 当日受付でお支払いください。
- (2) 申込方法 参加申込書を「高視研ホームページ」の放送技術講座のページからダウンロードし、電子メールにて申込んでください。
- (3) 締め切り **令和3年3月19日(金)** 17時 **締め切り厳守**
- (4) その他 受付確認を **3月23日(火)**までにFAXにて連絡します。

#### [4] 各講座に参加するための宿題

##### ・アナウンス

NHK 杯コンテストの基準に基づいて自校のニュース原稿を考えておく。

当日実技指導を予定している。30分程度しかないため全体で5人くらいしかできないが、希望する場合（各校1人まで）は所定の書式で2部印刷したものを当日持参する。

（自分用の原稿は別に用意しておく）

##### ・朗読

NHK 杯コンテストの指定作品を読んでおき、朗読箇所を抽出しておく。

当日実技指導を予定している。30分程度しかないため全体で5人くらいしかできないが、希望する場合（各校1人まで）は所定の書式で2部印刷したものを当日持参する。

（自分用の原稿は別に用意しておく）

##### ・番組

参加希望の学校にのみ資料を渡すので、それをよく読み、部内で夏のNHKコンテストに向けたスケジュールと、どの番組を制作するかを話し合っておき、質疑応答ができる程度の下取材を済ませておく。

※ 資料を事前に見たいという場合は、顧問の先生から下の連絡先まで問い合わせること。

※ 資料内の不明な点は顧問の先生を通じて講師の井村先生まで問い合わせること。

▼ 3/28の講座は、資料の4ページ上段「番組制作の過程」④と⑤の間あたりの段階を想定している。機材を使った撮影や録音をする必要はまだない。（今しか撮れない、というネタに関しては撮っておこう）

▼制作すると決まった（企画の通った）番組について、そのネタについてよく内容を知る人たち（主人公）をみつけ、紙とペンで取材を進めておく。疑問点や、映像で何が撮れるのか（音声で録れるのか）を見極めておく。

▼どんなストーリーにするか、自分なりのイメージを固めておく。

▼以上の事を可能な限り進めていただき、3/28の番組講座に臨んでいただきたい。

講師の井村先生から「これはどういう意味なの？」などと質問がある。できるだけ答えられるよう、選んだ番組テーマにおいては誰よりも詳しくなっておくこと。

※ 番組部門「資料」についての問い合わせ先（必ず顧問の先生からお願いします）

府立西成高校 小畑敦彦（Mail: obata@koushiken.jp / FAX: 06-6561-3028）

#### [5] 今後の予定

来年度 第1回放送技術講座については、部門別に日程を分けて実施します。

・すべての番組部門 4月18日(日)

ドキュメント：初級講座と個別相談会

創作ドラマ：ドラマについて

・アナウンス・朗読部門 4月25日(日)

午前中にアナウンスと朗読の基礎講座

午後 アナウンス：読みの聴き合いや原稿直し（公開指導にするかも）

朗読：読みの公開指導

という内容を計画しています。（場所未定）

また、例年実施している「NHK杯に向けての顧問向け講習会」も同日に予定しています。

